(1) 1969年2月25日
昭和44年1月10日・第三種郵便物認可

★激化する世界危機を世界革命へ！　プロレタリア日本革命をアジア革命の勝利と世界革命の突破口とせよ！

第8号

★全ての工場・職場・学園・地域に
安保粉砕の大衆行動委員会をつくれ！
★大衆行動委員会の中に実力防衛隊を組織せよ！
★基地包囲・街頭制圧・工場占拠・
学園占拠のゼネストで安保を粉砕せよ！

前衛

★安保ゼネストをプロレタリア日本革命の
突破口とせよ！
★資本家政府打倒・米軍追放・沖縄人民解放
労働者人民権力の樹立・労働者人民の武装！

毎月10・25日発行
発行　「前衛」編集委員会
発行人　杉村宗一
連絡先　郵便「東京4589番前衛社」
千代田区飯田橋3―1―6飯田町ビル
前衛社　TEL（264）5079
購読料（干共）
1部　20円
20回　400円

大衆闘争と遊撃戦の結合へ

四月闘争の前進のために

一、四月闘争の任務

金国の労働者学生諸君！

七〇年をあと二年にひかえた六九年闘争は、東大・日大をはじめとする全国学園占拠闘争にたいする国家権力・機動隊の一大攻撃をもって開始された。

七〇年をめぐる日本の安保階級闘争は、六七年の羽田闘争にはじまる全労・全学連闘争が大衆的な学園占拠バリケード戦へと波及し、それがさらに労働者大衆の職場占拠闘争に波及しはじめるというかたちで発展してきたからである。六八年秋の一〇・二一新宿騒乱闘争以後、学園占拠闘争こそが、日本の安保階級闘争の先陣にたってきたからである。

つまり、プロレタリア革命戦・国家権力は、大衆的反乱闘争の先陣にたっている学園反乱を押しつぶし、それを分ろうだたせることによって巨大な反乱闘争へとたちあがろうとしている労働者大衆を威嚇しようとかゴしているのである。

だから、一一三月の学園大攻撃は、一〇・二一新宿騒乱闘争発動を宣戦布告とみなされ、それを粉砕する全国的大攻撃の第一撃であり、権力側の総力をあげて、無力化しようとしている学生大衆を威嚇しようとかゴしているのである。

七〇年に向けての安保階級闘争は、こうした反撃力の結集攻撃をまったなしにしているのである。

金国の労働者学生諸君！

七〇年に向けての安保階級闘争は、こうした反撃力の結集攻撃をまったなしにしているのである。

四・二八沖縄闘争、それと前後して山場となる強制、三里塚ボーリング阻止闘争、学園臨時立法の策動、等々がそれだ。

しかも、この四月闘争は、六月の外相訪米阻止闘争、六・一五闘争、安保総決算青闘等、アスパック粉砕闘争と直接につながっていく一連の遊撃闘争の出発点だ。

権力の大量反撃攻撃をものともせず、現在の敵の安保階級闘争と真っ向から対決しようとしている学生大衆の闘争を圧殺しようとしている。

しかも、この四月闘争は、六月の安保階級闘争と直接につながっていくものだ。

だから、この四月闘争を、現在の敵の安保階級闘争を

全国学園闘争の現局面

学園反乱を学生反乱へ

一、学園闘争の現局面

二月中旬――授業が日大バリケードを破壊の条件をかなえて、三日中旬――以降から三月一旬にいたる全国学園闘争の規模の特徴は何か。

それは、第一に学園反乱の全国化の「第二期」の拡大――入試粉砕を軸とする関西学園闘争の爆発、北海道を含む学園反乱の全国的波及、全国闘争組織の全国的確立――であり、

第二に、こうした学園反乱の都市とその全国化にたって跳躍された、全国学生とともにおける諸教生諸運動の開始

第三に、高揚する闘争の中で、東大、日大における投げ出対する集中的、ゲリラ的攻撃――遊撃戦――による大衆運動力の発揮である。

だが、第四に、こうした諸点に対し、国家権力の総動員をもって先制攻撃を全般的開始するとともに、東大への暴挙、三月四日の東大・駒場の教養学部への大衆的弾圧に対する集中的な反撃。そして、こうした権力の全力をあげた徹底攻撃により、高揚学園戦線、総戦線区乱の全国化、地方における闘争と、そして政治反乱の形成、闘争に対する反撃の強化――これが四月闘争へ向けての我々の任務である。

一月二日～三日の二度にわたる「三百人」における日共官僚・大学当局と東大、立教大学等の学園の強力な弾圧を押る東大において、彼等のヘゲモニーにおいて、ヘゲモニーを殺しゆきながら、全国学生運動の強化へと発展しつつある。

東大闘争の直接の発端――機動隊が対一名だけで闘争に入った後に強行された、金閣寺の入試粉砕闘争への教育弾圧と、学園占拠闘争の地方における全国的エスカレートとの関係は、金閣寺の第一段階を形成した。

東大闘争の直接の発端――機動隊が対一名だけで闘争に入った後に強行された、金閣寺の入試粉砕闘争への教育弾圧と、学園占拠闘争の地方における全国的エスカレートとの関係は、金閣寺の第一段階を形成した。

金閣寺闘争の入試粉砕闘争は、二月中旬以降に示された全学生の闘争の開始、日共官僚の「民主化」